

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立常盤小学校 学校協議会

1 総括についての評価

「安心・安全な教育の推進」「未来を切り拓く学力・体力の向上」及び「学びを支える教育環境の充実」に関して、学校の取り組みについて理解していただき、結果について承認を得た。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安心・安全な教育の推進

- 1 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合 90%以上にする。
- 2 小学校学力経年調査における「学校のきまり（規則）を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする。
- 3 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 4 小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。

○ 達成状況は妥当である。

- ・ 1 について、今後も「いじめは絶対ダメ」と言い切れる児童を育てる具体的取り組みが継続していく必要がある。
- ・ 2 について、安全な学校生活を送るためにはどうしたら良いのか、なぜそのルールが必要なのか等を児童に考えさせる指導や取り組みを日常的に行ってもらいたい。
- ・ 3 について、児童の様子を丁寧に観察し、声をかけて話を聞くなどの対応を引き続き行ってもらいたい。
- ・ 4 について、児童の自己肯定感を育てる取り組みをより一層進めていただきたい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 1 小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 2 小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 36%以上にする。
- 3 小学校学力経年調査における、「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 4 小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 63%以上にする。

○ 達成状況は妥当である。

- ・ 2 について、ICT 機器を効果的に活用しながら、授業に意見交流したり話し合ったりする活動を取り入れてほしい。
- ・ 3 について体験的な学習をすることで理科を好きになる児童を増やしてほしい。
- ・ 4 について、児童数が多い中、限られた体育資源をフル活用していろいろな取り組みをしているのは評価できる。「運動が好き」「運動する習慣が身についている」と感じる児童が増えるよう

に、今後も取り組みを進めてほしい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 1 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 2 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を56.4%以上にする。

○達成状況は妥当である。

- ・ タブレット端末の活用目標は未達成であったが、昨年度より大幅に向上している。ただ、タブレット端末活用にも長所と短所がある。タブレットを使えばいい、ということではなく、適材適所で活用してほしい。
- ・ 教員の働き方改革について、常盤小学校の現状や時間外勤務の実態がよくわかった。保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、引き続き時間外勤務時間の減少と多忙化改善につながる取り組みを進めてほしい。

3 今後の学校の運営についての意見

大規模校で児童数も多い中、教職員のみなさんが工夫して取り組んでくださっていることに感謝している。今後も、よりよい方法を模索しながら、子どもたちのために取り組んでくださることを期待している。